

倉敷駅南口に新たなランドマーク誕生へ

着工記念式典を開催

倉敷市阿知3丁目東地区市街地再開発組合は着工記念式典を10月13日(日)、倉敷市の倉敷ステーションホテルで開き、行政、組合、事業関係者ら約100人が出席。橋本岳厚生労働副大臣らのあいさつに続き、鏡開きが行われ、本体着工を祝いました。

行政・民間で中心市街地を盛り上げよう！

倉敷市阿知3丁目東地区 市街地再開発組合	倉敷市
内田耕太郎 理事長	伊東香織 市長

この再開発は25年前、有志の方々が災害に強い街をつくろうと組織を発足したのが始まりです。長い時間をかけ、やっと新築工事に着手できることは大きな喜びであり、関係者の皆さまに感謝申し上げます。倉敷は伝統を誇る街ですが、古いものの中に新しいものがだんだん生まれて歴史を築いてきました。2年後に完成予定の建物が倉敷の新しい顔になり、再開発を起点に周辺が再び活性化することを祈念しています。

多くの方々のご尽力とご理解により着工を迎えられ、心から御礼と敬意を表します。近年、倉敷駅周辺では駅東側の市街地整備、駅北側では倉敷みらい公園などの整備に引き続き土地区画整理事業が行われており、中心市街地のさまざまな課題を解決しています。この再開発事業が完成すると一層、住民の皆さまが住みやすく、広域からも多くの方々が来ていただけるようになります。組合の皆さまと一緒に、事業の成功に向けてまい進していきます。



(写真右から)

●倉敷市中心市街地活性化協議会会長 岡荘一郎氏 ●岡山県土木部都市局建築指導課課長 有森達也氏 ●倉敷市議会議員 齋藤武次郎氏 ●倉敷商工会議所会頭 井上峰一氏

●厚生労働大臣 加藤勝信氏秘書 森安健一氏 ●倉敷市阿知3丁目東地区市街地再開発組合理事長 内田耕太郎氏 ●倉敷市長 伊東香織氏 ●国土交通省中国地方整備局建政部部長 村上威夫氏

●(株)アール・アイ・エー代表取締役社長 岩永裕人氏 ●旭化成不動産レジデンス(株)常務取締役 阿佐部肇氏 ●(株)NIPPO取締役専務執行役員 橋本祐司氏 ●(株)藤木工務店代表取締役 藤木玄三氏

全体街区

ネーミング募集中!

応募はWEBサイトから

締め切り ▶ 2020年1月31日(金) 17時

問い合わせ ▶ 倉敷市阿知3丁目東地区市街地再開発組合 (フリーダイヤル 0120-414-888、平日のみ)

倉敷市阿知3丁目東地区 全体街区名称募集

〈企画・制作／山陽新聞社広告本部〉

倉敷市初の 住宅 × 商業 × ホテル × 公共 複合型市街地再開発



2021年6月完成予定

完成予想図 (倉敷市阿知3丁目東地区市街地再開発組合提供)

JR倉敷駅南が変わります。構想から25年を経て、倉敷市阿知3丁目東地区が2021年6月、マンションや飲食店、ホテル、公共施設を備えた新しい街区に生まれ変わります。住宅を含む複合型市街地再開発事業は倉敷市初で、総開発面積は約17畧となり、スケールの大きい街の魅力アップに熱い視線が注がれています。

暮らし・仕事・出会い
人・情報が交わる「まちつむぐ、倉敷阿知」へ

JR倉敷駅と 美観地区に近接

再開発が進む倉敷市阿知3丁目東地区は、倉敷市の玄関口・JR倉敷駅から南東へ延びる倉敷中央通りに面し、同駅から約200m。日本有数の観光地である倉敷美観地区にも近い恵まれた立地環境にあります。

同地区西側に隣接する旧倉敷一番街商店街はかつて、衣料品問屋や芝居小屋が連なり活況を呈しましたが、近年は空き店舗が目立ち、同地区も木造老朽住宅が密集して防災面で課題がありました。「魅力ある街に再生を」と、住民有志がまちづくり協議会を立ち上げたのは25年前。準備組合を経て、同地区市街地再開発組合が昨年発足し、今年6月に既存建物の解体工事、9月に本体工事に着手しました。特定業務代行者の藤木工務店(大阪)、事業コンサルタントのアール・アイ・エー(東京)は「駅前の希少な立地で、大規模な事業ができるのは、再開発だからこそ」と強調します。

多様な交流生む にぎわい文化の街

同地区市街地再開発事業は「暮らし・仕事・出会い・人・情報が交わる「まちつむぐ、倉敷阿知」へ」をコンセプトに、7階建ての北棟(延べ1万840平方m)と10階建ての南棟(延べ2万9225平方m)を一体的に整備します。北棟はホテル、店舗など、南棟は分譲

マンション、店舗、駐車場などで構成。ホテルは倉敷ステーションホテル(倉敷市)が運営するほか、意匠堂(同)の飲食店、広島銀行(広島市)などの入居が決まっています。

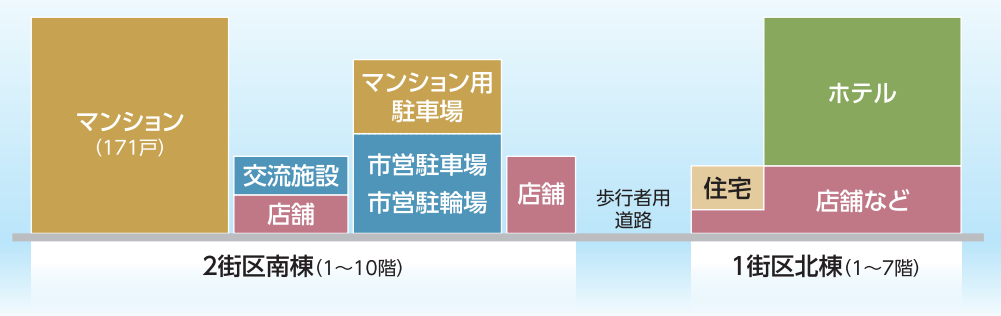
交流施設など地域に開かれた公共施設が整備されるのも特徴の一つ。南北2棟の間には歩行者用の市道を設けて倉敷中央通りと旧倉敷一番街商店街をつなぎ、街全体の回遊性を高めます。全体街区の総事業費は約157億円。うち約71億円を国と市が補助します。住宅を含む複合型市街地再開発により、中心市街地の活性化につながるにぎわいの創出や居住人口の増加が期待されています。

マンションは 多彩な19タイプ

マンションは総戸数171戸(非分譲21戸含む)のビッグプロジェクトを旭化成不動産レジデンスとNIPPO(ともに東京)が開発します。2LDK・4LDK・全19タイプの間取りをそろえ、ファミリーから高齢者、単身者まで多様なニーズに対応。規模を生かした

ゆとりある計画で、ライブラリーやパーティールームなどの共用施設が充実します。何より倉敷駅に近い利便性と、美観地区の歴史的情緒の両方を享受できる暮らしは大きな魅力です。

■ 施設構成



伊東香織
倉敷市長

内田耕太郎
倉敷市阿知3丁目東地区
市街地再開発組合 理事長